

※店舗ごとに作成し、当該店舗の給付額を福岡県感染拡大防止協力金申請書(様式第1号)に転記してください。

【第6期】協力金支給申請額計算書(別紙2) ※その他市町村用

以下のフロー図の質問を基に、該当する計算方法を選択していただき、数値を入力してください。

【売上高減少額方式】 ※日数の算定にあたっては、休業日(定休日や不定休による店休日)を含みます。

<p>前年又は前々年の1日当たり飲食業売上高と令和3年の1日当たり飲食業売上高を計算してください。 計算方法は下記A・B・Cいずれかを選択可能です。 ※月々の売上高が不明な場合は裏面の売上高減少額方式(年間売上高による申請)が利用可能です。</p>						
A 月単位方式	前年又は前々年	前年又は前々年5月の飲食業売上高 円	÷	31日	=	前年又は前々年の1日当たり飲食業売上高 ① 円
	令和3年	令和3年5月の飲食業売上高 円	÷	31日	=	令和3年の1日当たり飲食業売上高 ② 円
B 時短要請期間方式	前年又は前々年	前年又は前々年の時短協力期間と 同期間の飲食業売上高 円	÷	時短協力日数 日	=	前年又は前々年の1日当たり飲食業売上高 ① 円
	令和3年	令和3年の時短協力期間の 飲食業売上高 円	÷	時短協力日数 日	=	令和3年の1日当たり飲食業売上高 ② 円
C 新規開店特例方式	(※時短要請月を基準に、開店1年未満の場合に使用してください。) (開店日から時短協力開始日の前日までの飲食業売上高)÷(開店日から時短協力開始日の前日までの日数)=1日当たりの飲食業売上高					
	令和3年	開店日から時短協力開始日の前日までの飲食業売上高 円	÷	開店日から時短協力開始日の前日までの日数 日	=	1日当たりの飲食業売上高 ① 円
※ 開店日が令和3年1月16日より前の場合は、開店日から令和3年1月15日までの飲食業売上高も選択可能です。						
令和3年	令和3年の時短協力期間の 飲食業売上高 円	÷	時短協力日数 日	=	令和3年の1日当たり飲食業売上高 ② 円	

上記で計算した①②の数字を転記してください。

$\left(\begin{array}{c} \text{前年又は前々年の1日当たり飲食業売上高} \\ \text{① 円} \end{array} - \begin{array}{c} \text{令和3年の1日当たり飲食業売上高} \\ \text{② 円} \end{array} \right) \times 0.4 =$	$\begin{array}{c} \text{1日当たりの給付単価} \\ \text{円} \end{array}$
$\begin{array}{c} \text{1日当たりの給付単価※} \\ \text{000円} \end{array} \times \begin{array}{c} \text{時短協力日数} \\ \text{日} \end{array} =$	$\begin{array}{c} \text{当該店舗の給付額} \\ \text{000円} \end{array}$

支給額等を必ずご確認の上、「上記内容で申請します」にチェックしてください。 上記内容で申請します

※1日当たりの給付単価の上限額は、次の①、②のいずれか低い額①20万円、②前年又は前々年の1日当たり飲食業売上高に0.3を乗じた額につき、1千円未満を切り上げて得られた額

【売上高減少額方式（年間売上高による申請）】 ※前年又は前々年の月別の売上が不明な場合に申請可能

前年又は前々年の1日当たり飲食業売上高を計算してください。

$$\boxed{\begin{array}{l} \text{前年または前々年の年間の飲食業売上高} \\ \text{円} \end{array}} \div \begin{array}{l} \text{365日} \\ \text{366日} \end{array} \text{いずれかに○を} \\ \text{つけてください(※)} = \boxed{\begin{array}{l} \text{前年又は前々年の1日当たり飲食業売上高} \\ \text{①} \end{array}}$$

※ 令和2年2月29日の売上高が含まれる場合は366日、含まれない場合は365日を選択して計算してください。

令和3年の1日当たり飲食業売上高を計算してください。計算方法は下記A・Bいずれかを選択可能です。

A 月 単 位 方 式	$\boxed{\begin{array}{l} \text{令和3年5月の飲食業売上高} \\ \text{円} \end{array}} \div 31 \text{日} = \boxed{\begin{array}{l} \text{令和3年の1日当たり飲食業売上高} \\ \text{②} \text{円} \end{array}}$
B 時 短 要 請 期 間 方 式	$\boxed{\begin{array}{l} \text{令和3年の時短協力期間の} \\ \text{飲食業売上高} \\ \text{円} \end{array}} \div \boxed{\begin{array}{l} \text{時短協力日数} \\ \text{日} \end{array}} = \boxed{\begin{array}{l} \text{令和3年の1日当たり飲食業売上高} \\ \text{②} \text{円} \end{array}}$

上記で計算した①②の数字を転記してください。

$$\left(\boxed{\begin{array}{l} \text{前年又は前々年の1日当たり飲食業売上高} \\ \text{①} \text{円} \end{array}} - \boxed{\begin{array}{l} \text{令和3年の1日当たり飲食業売上高} \\ \text{②} \text{円} \end{array}} \right) \times 0.4 = \boxed{\begin{array}{l} \text{1日当たりの給付単価} \\ \text{円} \end{array}}$$

$$\boxed{\begin{array}{l} \text{1日当たりの給付単価※} \\ \text{000円} \end{array}} \times \boxed{\begin{array}{l} \text{時短協力日数} \\ \text{日} \end{array}} = \boxed{\begin{array}{l} \text{当該店舗の給付額} \\ \text{000円} \end{array}}$$

↑ 千円未満切り上げ

支給額等を必ずご確認の上、「上記内容で申請します」にチェックしてください。 上記内容で申請します

※1日当たりの給付単価の上限額は、次の①、②のいずれか低い額①20万円、②前年又は前々年の1日当たり飲食業売上高に0.3を乗じた額につき、1千円未満を切り上げて得られた額